

# 緑化委員会広報

## 新委員長に会田氏を選出

### 作業日に毎回委員会開催へ

緑化委員会の平成24年度の新役員体制が決まりました。5月に開催される管理組合の通常総会後から正式にスタートします。

緑化委員会は4月8日の定例作業後に第4回委員会を開催し、平成24年度の新役員の選出と作業報告等を協議しました。

役員人事では林委員長が退任し、後任に会田氏を新委員長に選出、協副委員長と田上会計担当は留任し、

輪番制の新役員に6氏を選出しました。会員は37人（4月1日現在）

また緑化委員会は毎月1回（第1日曜）に定例作業を実施していますが、今後は作業前後に毎回、全員参加の委員会を開催、作業実施計画等の協議と周知を図ることを確認しました。

新役員は次の通り。

委員長 会田修▽副委員長 脇文雄▽会計 田上順次▽役員 柏木清志▽同

### 一層の住環境整備に努めたい

#### 健康に留意しご協力を

平成24年度の緑化委員長を仰せつかった会田です。委員の仲間と一緒に当団地の緑化活動に邁進していく所存でありますのでよろしくお願いします。

当団地は現在、2回目の大規模修繕工事が始まっており、真新しい団地に様変わりするのに合わせて、建物周辺の環境整備に、以前にも増して頑張りたいと思います。皆様方

には健康に留意されてご協力をお願いいたします。

人生90歳時代、各委員の経験と知恵を団地のために生かし、また、自分自身のストレス解消のために緑化活動のほか、アダプト活動や夏祭り、餅つき大会等に協力し合い、一層住み良いホームタウン鶴牧6団地のために、努力していこうではありませんか。

（会田 修）

### 居住者の慎重な論議が肝要

#### 団地内の中高木伐採問題

2号棟東側歩道脇のナンキンハゼを3月に造園業者に委託して伐採しました。

ナンキンハゼ伐採については、緑化委員会、役員会でも賛否両論の論議がありました。高所作業の危険性、及び理事会からの強い予算削減要請の中で、今後剪定を外注すると費用もかかることから、平成23年度内で一気に伐採に踏み切りました。

理事会では「外注費用がかさむ高木は極力伐採していく」という論議がされたようですが、当団地も24年の予算要求になりました。

緑化委員会は発足当初から「必要な作業は、できるだけ自分たちの手で」をスローガンにやってきました。

経過し、樹木も大きく成長しました（高木類が3百数十本）。これらの樹木は団地の財産的価値の一部を構成していると考えますので、今後の高木伐採については、住民全体の問題として慎重に論議していくことが肝要かと思えます。

予算削減要請によって平成24年度の園芸費は、対前年比23万円減の217万円の予算要求になりました。



南側斜面の整備作業（平成24年4月8日）

### 定例作業報告

11月5日

11月6日（日）定例作業は理事会の草刈り日と合同作業。委員会はナンキンハゼの下枝剪定と南側斜面のユキヤナギ整備作業。

12月4日（日）定例作業。南側斜面のユキヤナギ剪

定。終了後、夕方から委員会兼忘年会。

12月25日（日）団地恒例の有志年末餅つき会。

1月29日（日）2月定例作業の繰り上げ実施。南側斜面のユキヤナギの施肥。

3月4日（日）定例作業。

2号棟駐車場の生垣剪定と緑化作業用具の棚卸し。

3月19日（月）東側斜面の桜と道路沿いのナンキンハゼ伐採（風雅苑）。

4月8日（日）定例作業後に緑化委員会開催。新委員長など新しい役員体制を決定。

### 「集合メールはもうこない」

#### 永田都志雄さんを悼む

話し好きの「トシちゃん」はうそか本当か、信じられないようなひょうきんな話をしていつもみんなを笑わせた。携帯メールを覚えると、絵文字を入れた長いメールを得意そうに送ってきた。

「明朝、コメダ」。こんなメールが飛び込むと、唐木田駅近くに開店した喫茶店「コメダ」に駆けつけ、コーヒーを飲みながら、しばし野球談話などに熱中した。

カラオケが好きで、麻雀がめっぽう強かった。「いじめるのが楽しみ」

と豪語し、上がった時の自信満々の誇らしげな口調が忘れられない。

お孫さんが自慢の好々爺だった。泊りに来る日が決まると、いつも滞在プランを楽しそうに話してくれた。告別式では終始泣きじゃくっていたお孫さんだったが、最後のお別れの献花になると号泣した。

式場に持ち歌だった裕次郎の「わが人生に悔いなし」の曲が流れ、参列者全員で合唱した。享年65歳。早過ぎる旅立ちだった。

（富田 信吉）



# 春! ユキヤナギと桜満開



## メタボ予備軍でプール通い

### 週3日、上級クラスにも挑戦

3年前の1月から本格的に水泳に取り組み始めました。きっかけは、その少し前に市の健康診断を受けた時、ウエストが85センチで、いわゆるメタボ予備軍と判定されたことです。

剣道を生涯スポーツと思いついて、大学卒業後は主に母校で稽古を続けていたのですが、それも段々おっくうになってきて、このような結果になった訳です。そこでもっと手軽に日常的な運動をしようと思い、アクアブルーに平均して週

3回程度のペースで通っています。1年でウエストは7センチほど減少し、現在は75センチ程度になりました。当初は長い時間泳いでいるだけで満足していたのですが、そのうちに欲が出てきて、同年輩や明らかに年上の方々が自分より早く無理なく泳いでいるのを見ると、何とかそのような泳ぎを身に着けたいと思うようになりました。

4月初めに自分の泳ぎをビデオで撮影してもらおう企

面に応募。その後、4月12日から上級クラスに参加し

てレベルアップを図るつもりです。(宮坂 秀一)

## 6回目を迎えた年男のボヤキ

### 身体の衰え年々痛感

今年の干支は辰。私は年男として6回目を迎えた。正月の3日、新たな年を祈願して地元の落合白山神社に参拝したが、今年が辰年に当たるところから、特別な願いを持っておみくじを引き「小吉」を手にした。

だが、身体は年々衰えがあらわらなってきた。学問と恋愛運は大吉に相当する素晴らしい文言なるも今さらの感。つくづく年は取りたくないものと、一人ボヤいている。

(香村 義隆)

## 編集後記

・待ち遠しかった春がやってきました。敷地内の桜や南側斜面の歩道脇のユキヤナギが一斉に花を咲かせ、大規模修繕工事に彩りを添えています。

・平成24年度の新役員体制が決まり、新委員長さんに就任の寄稿をお願いしました。

・緑化委員会OBの末木雅貴氏から近況便りが届きました。福島原発事故の余波が意外なところにも波及していることを知りました。

・亡くなった永田さんにごひいきの喫茶店コマダでバーガーを注文してこずりました。年寄りには大き過ぎました。

・健康運では「薬の頼りすぎをやめ先ず生活改善を」とあった。干支も6回目となると、後期高齢者の一歩手前。健康を保つため緑化作業で汗を流すことは大切

(編集制作 富田)

昨年、スタジオ常設用のキーボードが必要となり得意の(?)オーケションで、当時数十万した中古品を安く落札しました。音が多彩で状態も良く奏者も喜んでいました。

## ようやくバンド活動を再開

### 被災地の奏者から楽器購入

出品者は直接被害の少なかった福島県会津地方の方でしたが、商品に放射線測定器のメーター数値を写真アップしていて、原発事故の傷の深さを痛感しました。その方は以前、バンドコンテストで地方予選を勝

ち抜き、日本武道館で決勝まで残ったバンド奏者でした。落札した楽器は愛用する中の一つで、大切にしていたそう、操作や特性などいろいろ教えていただき、今でもメールでやり取りをしています。

ホームタウンは大規模修繕工事中とのことで、鬱陶しいことでしょう。しばしの辛抱ですね。ところで今回の「階段手すりの塗装は何色ですか」。このギャグがお分かりになる方は団地の通です。私は初回の大規模修繕時に輪番理事でした。

末筆ながら長い間、闘病されていた永田さんのご逝去。心よりご冥福をお祈り申し上げます。緑化作業や朝の通勤時によく談笑しました。お元気になられた時期もあったと聞き残念です。合掌。

(緑化OB 末木雅貴)

皆様お元気で過ごさしのこととお喜び申し上げます。昨年、餅つきではお世話になりました。若い方が増えて搗き手(つきて)に困らず心強いですね。懇親会では住人の如く楽しい時間を過ごさしていただき、ありがとうございました。(うそです)。

昨年の大震災以降はモチベーションが奈落の底状態でバンド活動は控え気味でした。今年に入ってからようやく元気を取り戻すために、音合わせをするように、気分転換になっ

て生きてきたので通じ合えます。彼にはご自身のためにも周りの方のためにも元気を取り戻して、またバンド活動を再開し被災された皆さんを励ましてくれることを願っています。